

# たこかし

<http://www.suginami-school.ed.jp/takaido4shou/>

杉並区立高井戸第四小学校

## 「平和」を考える

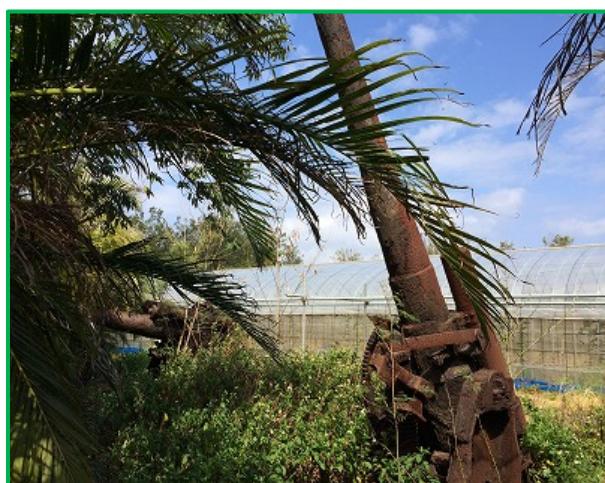
校長 加納 直樹

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まりました。学校に、元気な子供たちの声が戻ってきました。夏休みの「夏季水泳教室」「図書館開放」「すぎなみ塾」は感染拡大を考慮して中止とさせていただきました。それでも、先週末のPTA主催の水遊びのイベントは、PTA役員の皆さんのご尽力もあって無事に実施できました。大勢の子供たちや保護者の皆様と夏の楽しい思い出を共有することができました。

私たち教職員は感染症に注意しながら、夏休みを活用してさまざまな研修に参加したり、授業や行事の準備をしたりするなど、2学期に備えました。

いよいよ2学期がスタートします。今学期もご支援ご協力よろしくお願い申し上げます。

ところで、8月15日は「終戦記念日」でした。皆さんには、戦後77年のこの日をどのように迎えられましたか。ニュース番組を聞いていたところ、ある番組で10代から30代の男女を対象に「8月15日は何の日か」という調査をしたそうです。その結果、「終戦記念日」と答えられた人が54%にとどまったと言う話がありました。お盆の時期を中心に、テレビや新聞では、「玉音放送」「戦没者追悼式」とか、戦争をテーマとした「平和」・「命」について考える番組や記事が多くあったように思えます。にもかかわらず、「終戦記念日」を知らない若者が増えているというのはとても残念な結果だと思います。



パッショントルーツのハウスの前にある大砲(母島)

話は変わりますが、私は、平成28年の3月まで、(東京都)小笠原村立母島小学校・中学校に勤務していました。村には、日本軍の使っていた大砲やトーチカ(コンクリートでできた陣地)、壕などの戦跡をいたるところで見る事ができました。そして、村内には、太平洋戦争の激戦地となり日米両軍合わせて二万余名もの尊い命が失われた硫黄島もありました。また、戦後23年間もアメリカ軍に占領されていたという歴史もあることから、平和について学ぶ「平和教育」には、とても力を入れていました。

戦後77年。時代は昭和から平成、そして令和へと変わりました。戦後生まれが多くを占める時代になっています。ロシアのウクライナ侵攻をどこか遠い所の自分とは関係ない出来事のように感じてしまう私たちがいます。人と人が殺し合う戦争が、二度と起こらないように考えて行動していかなければいけません。大切な「平和」・「命」について、是非ご家庭でも、いろいろな機会を通じて話し合ってみてください。